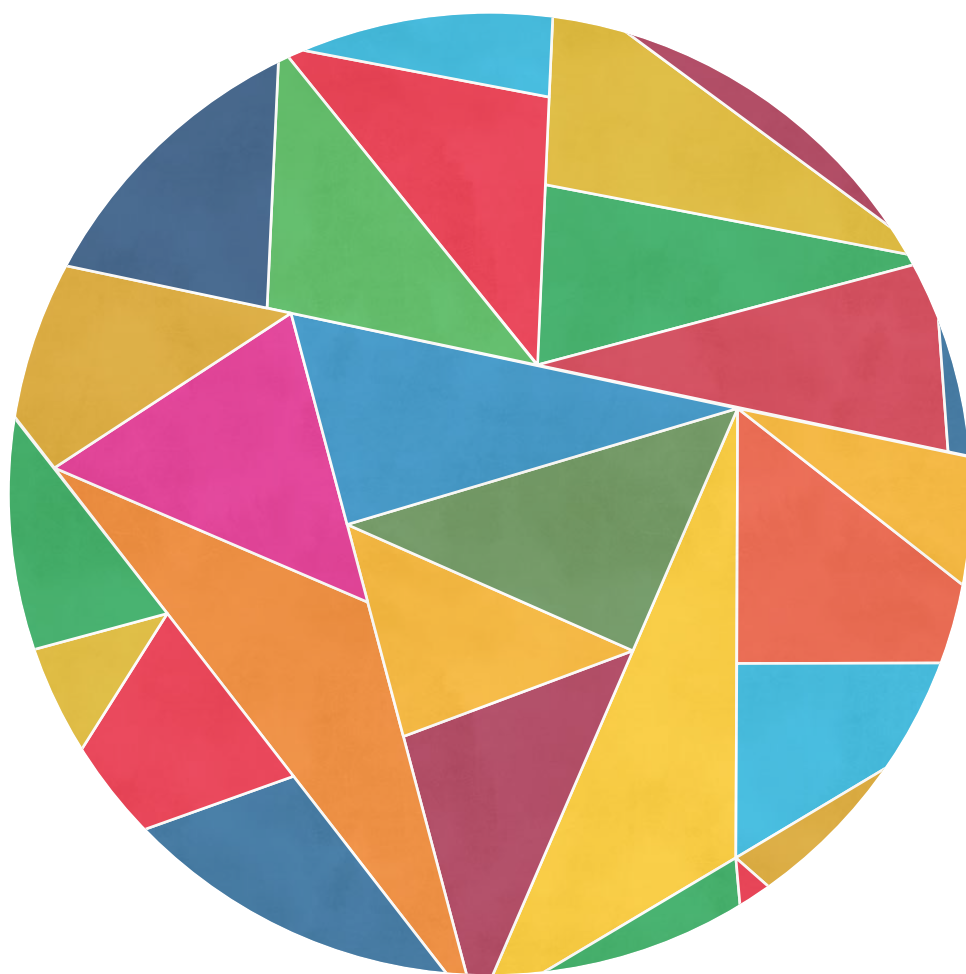


# 和歌山市ベスト SDGsアクション



人生100年SDGsアクション参加活動促進事業

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT **GOALS**

和歌山市SDGs推進事業実行委員会

## Overview

概要

本誌は、SDGs活動のやりがいや新たな参画・連携の創出を目的に実施した「人生100年SDGsアクション参加活動促進事業」で集まった、企業・学校・団体等のSDGsアクション（SDGs達成に向けた取組）を紹介する冊子です。

## CONTENTS | 目次

<b>★最優秀賞</b>	
01 動物もお客さんもみんな幸せになれる動物園に 動物園HAPPY大作戦!!	02
／和歌山大学教育学部附属小学校 3年B組	
<b>★優秀賞</b>	
02 みんなでみんなの幸せに繋がる竹プロジェクト	04
／和歌山大学教育学部附属小学校 3年A組	
<b>★奨励賞</b>	
03 電力会社と信託銀行が連携して小学生に伝えるSDGs出前授業	06
／関西電力株式会社 和歌山支社・三井住友信託銀行株式会社 和歌山支店	
<b>★功労賞</b>	
04 すべての子どもたちに性教育を学べる機会を!	08
／助産師 浜野優子	
<b>★サステナブル賞</b>	
05 プラスチック食べたことある?	10
／近畿大学附属和歌山中学校 2年生	
<b>★その他提供事例（掲載に同意いただいたもの。応募順）</b>	
06 バナナペーパー年賀状	12
／西岡総合印刷株式会社	
07 令和版きょうほうの改革	
／株式会社タカショー	
08 フェアトレード教育促進事業	
／Happiness Kids Labo	
09 和歌の浦SDGsプロジェクト	
／和歌の浦SDGsプロジェクト	
10 循環型消費する木材利用	13
／有限会社白樫木材	
11 次世代環境車の有効活用の啓蒙活動でSDGs	
／和歌山自動車株式会社	
12 サニコンのSDGs 5つの取組み	
／株式会社サニコン	
13 和歌山発!地域を拓く鍵となる「Key Girl」育成プログラム	
／和歌山信愛中学校高等学校	
14 牛乳パックから生まれた紙の糸事業	14
／株式会社島精機製作所 ReMateri	
15 男の子だってヘアドネーション	
／千崎咲都	
16 SDGs参加活動を通じて、地域の方々の健康を「静・動・食」からサポートするSDGs推進事業	
／健康研究所鉄板ダイニングBENK	
17 POLA marche	
／POLAふじと台駅前店	
18 9.産業と技術革新の基礎をつくろう	15
／日中金属貿易株式会社	
19 廃棄ストリングの活用	
／株式会社ミキスポーツ	
20 100年後の子どもたちに自然豊かな地球を残す	
／ぐるり和歌山	
21 女性の職場活躍推進を目的とした昇給基準の明確化と賃金増額の取り組み	
／学校法人山本学園 IBW美容専門学校	
22 和歌山駅からサステナブルな街づくりを	16
／株式会社和歌山ステーションビルディング	
23 関西初の『ZEB』事業所～脱炭素社会の実現に向けた取り組み～	
／リコージャパン株式会社	
24 女性が研究していくモビリティと新たなまちづくり	
／一般社団法人ワーカルラボ	



## 動物もお客さんもみんな幸せになれる動物園に 動物園HAPPY大作戦！！

地域の工事現場から出た廃材を使って  
動物が動物らしく安全に遊べるおもちゃを作る



**Goals**  
目標

**11** 住み続けられる  
まちづくりを



**12** つくる責任  
つかう責任



**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう



### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

和歌山大学附属小学校3年B組は、和歌山市内の清掃活動を通じてSDGsについて学びを深めている。和歌山城公園内の清掃活動に訪れた際に、動物園に興味を持ち、交流するなかで、飼育員の仕事や動物たちの様子から、もっと動物園を元気にしたいという思いをもった。

そこで調べ学習を進める中で、飼育員の困りごととして「園内の環境整備に日々忙しく、動物達の遊ぶおもちゃ作りができていないこと」を知り、地域の工事現場から出た廃材を使って、動物が動物らしく安全に遊べるおもちゃ制作を試みることとなった。おもちゃ制作には、動物の生態を知る必要があり、飼育員や獣医師に相談しながら、児童自ら考えたイメージをもとに1ヶ月以上かけて完成させ、今は動物園内に常置されている。

### FUTURE | 今後の計画・展開

児童が試作したおもちゃを動物に与え、試行錯誤を重ねながら、先生や飼育員、獣医師など多方面からアドバイスをもらいながら児童自身で、課題や計画を決めて取り組み、ブラッシュアップをしていく。完成後は、動物園でおもちゃのお披露目イベントを開催し、保護者や観光客に対して児童自らが動物の生態についても説明し、動物たちの良さを共有できるような機会をもつ。



### ★ 実施主体

和歌山大学教育学部  
附属小学校 3年B組

### ★ 実施場所

和歌山市内

### ★ 実施時期

2023年9月12日～2023年12月20日





# みんなでみんなの幸せに繋がる竹プロジェクト

## 竹を使ってモノづくりに挑戦



## ABOUT | 取組のきっかけ・内容

和歌山大学教育学部附属小学校3年A組の子供たちは総合的な学習の時間に自分の身近にあるものでモノづくりをしたいと考えた。そこで学校にたくさん生えている竹に目を向けた。ゲストティーチャーの方に来ていただき、竹を切ることは竹害を減らすことになり、『陸の豊かさを守ろう』につながると知った。そして、切った竹を使ってモノづくりをすることでムダがなくなり、作った物を大切にすることはSDGsの『つくる責任 つかう責任』にもつながることも理解した。

本プロジェクトでは、竹を使って『お箸・お皿・コップ』や『はたき』を作り、さらに株式会社竹千代の谷さんに協力していただき、誰かの心を灯す『竹あかり』を作った。また、切って使わなかった竹は無煙炭化器で『竹炭』にすることで、可能な限り竹を有効活用し、ムダがないように活動を行ってきた。作った竹の商品は、イベントで販売し多くの人に届けることができた。

## FUTURE | 今後の計画・展開

はじめは自分たちの作った物でみんなを幸せにしたいという目的で取り組んできた活動であったが、地球環境にとっても大切な取り組みであることが分かった。これからも竹の魅力の発信や自分たちの活動を広め、よりよい未来を創れるように自分たちにできることを考えていきたい。



## ★ 実施主体

和歌山大学教育学部  
附属小学校 3年A組

## ★ 実施場所

和歌山市内

## ★ 実施時期

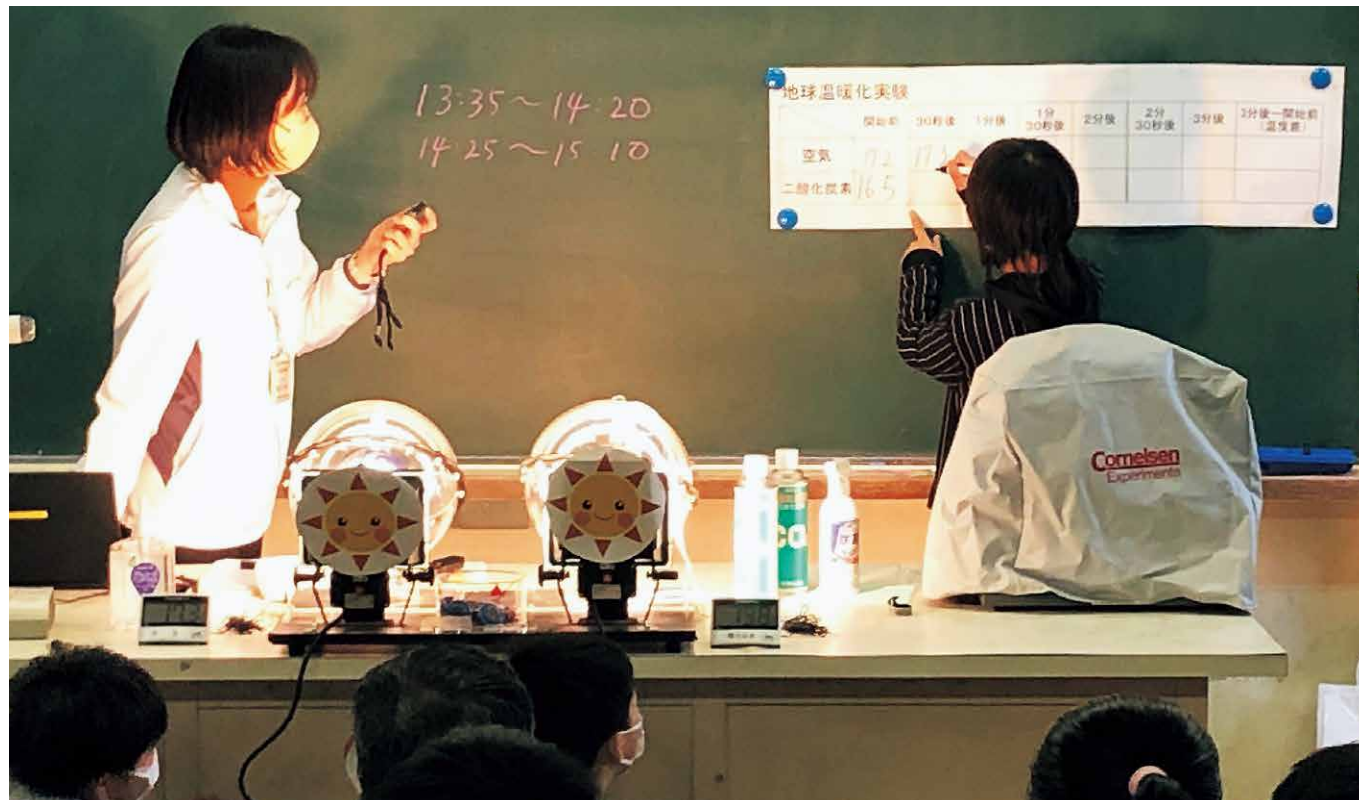
2023年4月10日～2024年3月31日





## 電力会社と信託銀行が連携して 小学生に伝えるSDGs出前授業

電気やお金といった身近な話題を使って  
わかりやすく楽しい授業が実現



### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

関西電力和歌山支社と三井住友信託銀行和歌山支店は、各社で学校向けに電気やお金をテーマに出前授業に取り組んでいるが、今回子供たちに脱炭素社会というテーマを伝えるにあたり、共同開催することで両社の電気やお金といった複数視点での出前授業が実現。授業内容も、お年玉貯金が銀行を通じて、環境にやさしい太陽光発電や風力発電設備投資に繋がっていく可能性があることや、「地球温暖化実験装置」を使って実際に気温が上昇する実験、ライトやうちわを活用したミニ太陽光/風力発電実験など、お年玉という子供たちに身近な話題や、実際の実験(子供たちは大喜び)を通じて、子供たちにわかりやすく楽しみながら学べる授業が実現した。

### FUTURE | 今後の計画・展開

引続き小学生向けSDGs共同出前授業は継続中で、2024年1月にも実施予定。また、SDGsと関連の深い2025年大阪・関西万博に和歌山県ブースの出展が予定されているが、地元の認知度を高めるべく、出前授業の中で大阪・関西万博をPRし、万博の機運醸成をサポートしながら、SDGsの目標達成に向けて活動していく方針。

### ★ 実施主体

関西電力株式会社 和歌山支社/  
三井住友信託銀行株式会社 和歌山支店

### ★ 実施場所

和歌山市内

### ★ 実施時期

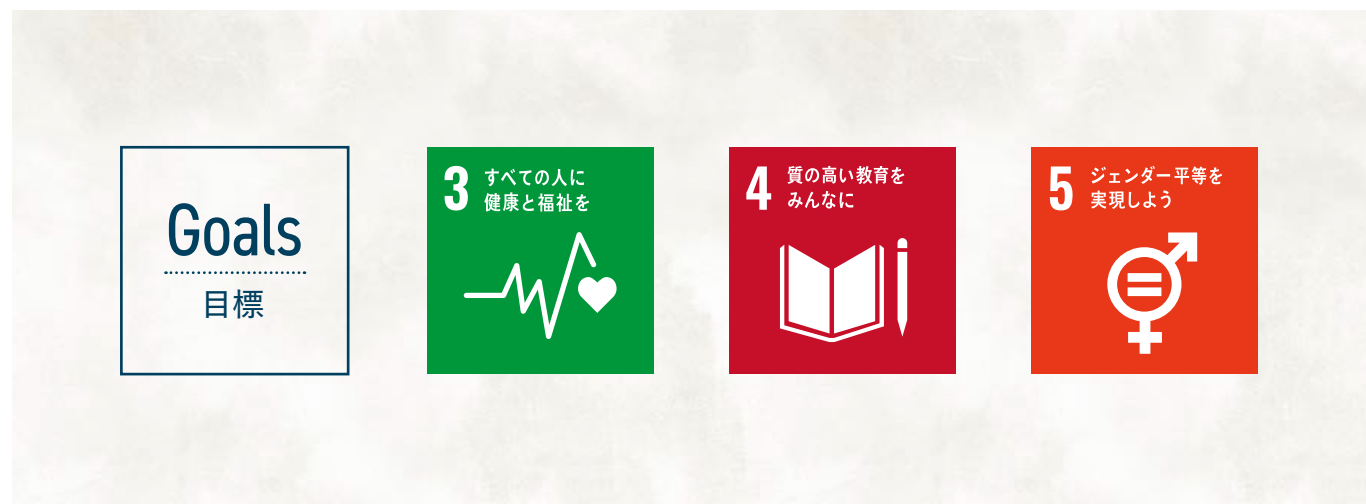
2023年1月30日、2023年2月28日、2023年10月31日





## すべての子どもたちに性教育を学べる機会を！

年間で50講座、2000名以上に講演を実施  
「幸せになるための性教育」を目指して



### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

インターネット普及による弊害や、性被害、若者の性感染症増加などの社会問題の中、性教育の重要性が改めて注目されている。子どもたちが性に関して正しい知識を持ち、自ら考え自らの意思で行動できるよう「幸せになるための性教育」を目指して活動中。正しい知識を持つことは、自分の心も体も守り、人生の選択肢が増えると考え。幼保・小・中・高・大学生・特別支援クラス・保護者・教職員に向けての講演会や個別相談を実施。講演内容は、生命の誕生、思春期の心と体、妊娠、避妊、性感染症、DV、性被害、同意と境界線、ジェンダー、生命の安全教育、自己受容、性教育とは、など。2022年度は、50講座2,000名以上に講演を実施。

### FUTURE | 今後の計画・展開

性教育とは、「生きる力を育む人権教育」です。生きていくために大切な性教育を、すべての幼保・小・中・高・大学生・特別支援クラスの子どもたちが受けられることを目指す。そのために学校や地域と連携をとりながら、外部講師として子どもたちや大人たちと共に学んでいきたい。子どもたちの健やかな未来のために、できることから一步一步進んでいきたいと思えます。

★ **実施主体**  
助産師 浜野優子

★ **実施場所**  
和歌山市内

★ **実施時期**  
2021年6月8日～現在





## プラスチック食べたことある？

友ヶ島でひろったゴミで実物大の生き物を作成  
浜の宮でマイクロプラスチック調査も



## ABOUT | 取組のきっかけ・内容

先輩たちがやっていたことを見せていただいたことがきっかけです。中学1年生で取り組んだことですが、和歌山市とのSDGsについての約束を結び、7月に友ヶ島に行ってゴミひろいをし、そのゴミを集めて、実物大のマグロや、各クラスで海の生き物たちを作り、学校の文化祭で発表しました。また、11月には浜の宮にゴミひろい兼マイクロプラスチック調査に行きました。2月、中3の先輩方が作った作品とともに、和歌山イオンでそれらを展示しました。3月、海ごみアート「子ども美術館」展示・発表会に参加しました。

## FUTURE | 今後の計画・展開

今年は、キャリア教育を学ぶの学年としています。桐蔭中学校と連携し、和歌山市でSDGs推進ネットワークに加盟している企業の中から、企業を訪問し、その企業でのSDGs活動を学ぶとともにその企業をPRするものを作成し、発表することを目標としています。

★ 実施主体  
近畿大学附属  
和歌山中学校 2年生

★ 実施場所  
和歌山市内

★ 実施時期  
2022年4月～2023年3月





## ★Action06

### バナナペーパー年賀状



★実施主体  
西岡総合印刷株式会社

★実施時期  
2022年11月1日  
～2022年12月30日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

環境を理由に年賀状を廃止する企業が増えてきています。しかしバナナペーパーを使った年賀状を出せば逆にSDGsの取り組みに合致し、環境問題に貢献できます。バナナペーパーの年賀状を販売促進することで持続可能な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

昨年始めたバナナペーパー年賀状を今年の年賀状シーズンも販売していく計画をしています。また年賀状以外の名刺やショップカードなど他の商品に展開し販売を始めています。

## ★Action07

### 令和版きょうほうの改革



★実施主体  
株式会社タカショー

★実施時期  
2020年7月30日  
～2023年1月24日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

2020年11月に行われた官民SDGsワークショップ『わかやま未来創造会議』に参加したのがきっかけです。  
大人になる前から和歌山市の改革に携わることで、シビックプライドを醸成する教育プログラム『令和版きょうほうの改革』をプレゼンし、ファンタスティックファンレイジング賞を受賞しました。  
提案内容を実践する場として、桐蔭中学校の総合的な学習の時間の外部講師として約半年間授業を受け持ち、どんぐりの育苗による森林保全をテーマにした『どんぐりプログラム』をSDGs授業として実施。成果物として生徒さんによるSDGs動画を6本製作しました。  
2022年度には、『未来スクール』の一日先生として、地元で働くことの魅力を伝えました。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

子供たちが拾ってきたどんぐりを、植えて発芽させて育て、大きく育ったどんぐりを再び山に植える『どんぐりプログラム』を市内の学校・自治体・企業と一緒に大きく展開させたい。  
プロジェクトリーダーとして、育苗キットの提供、SDGs講義および全体マネジメントをタカショーが実施。SDGsに関心のある企業にも参加いただき、子供たちと一緒にどんぐりを育苗。最終的に「企業の森」に植樹するという計画です。

## ★Action10

### 循環型消費する木材利用



★実施主体  
有限会社白樺木材

★実施時期  
2022年9月～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

国産材を消費する事で、森を守るお手伝いをします。  
2022年9月～ おおさかATCエコプラザ11Fで展示中

#### FUTURE | 今後の計画・展開

継続してPR活動しながら施工例を増やしていきたいと思っています。

## ★Action11

### 次世代環境車の有効活用の啓蒙活動でSDGs



★実施主体  
和歌山自動車株式会社

★実施時期  
2021年3月1日～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

2030年カーボンニュートラル指標の実現と持続可能な好循環社会の実現に向けて、自動車産業に携わる企業として、2021年“和歌山自動車SDGs宣言”をしました。次世代環境車(電気・水素エネルギー等)の普及によるCO2削減と減災への有効活用を地域の皆様・企業様・自治体含む団体様とのパートナーシップで連携・協力し、防災協定締結や各地の防災訓練・SDGsイベント等で“停電時は車から給電”“車は動く蓄電池”とデモンストレーション活動を行っています。また、皆様に※災害時の三助※『自助』『共助』『公助』の観点からもまずは『自助』の大切さを有効なツールを使い説明し啓蒙活動を行っています。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

2023年になり、弊社と同じような取り組みが全国で多く見受けられ、新聞紙上にも取り上げられるようになりました。現活動を多様な場面で行ってきたいと考えています。  
2023年下期には、  
10月 1日(日曜日) 『SDGsはしもと環境フェア』  
10月 7日(土曜日)・8日(日曜日) 『トヨカロ2023まつり』  
11月19日(日曜日) 『moiフィンランドin和歌山“フィンランド文化&トヨタモビリティ&SDGs体験”』  
12月 3日(日曜日) 『おもしろ環境まつり』 に参加予定

## ★Action08

### フェアトレード教育促進事業



★実施主体  
Happiness Kids Labo

★実施時期  
年中実施

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

世界には、教育の機会が与えられないで児童労働を強いられている子供たち、貧困にあえぐ人々、難民として転々と暮らさなければならない人々があります。しかし、和歌山の子供たちはそのようなことに触れる機会が多くありません。彼らをサポートするべく、「日々のお買い物」を通してできる支援の形である「フェアトレード」を和歌山に根付かせようと、主に小・中学校への出張授業を行ってきました。(昨年度(令和4年度)は木本小学校・太田小学校)  
また、地域のイベントに参加して、フェアトレードの商品を実際に手にとってもらったり、フェアトレードの商品を使った親子向けの料理教室・チョコレート試食会・アート教室などのイベントも開催しています。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

昨年までの経験を生かし、さらに多くの学校と連携し、フェアトレードの出張授業やイベントへの参加をしています。また団体全体としては、昨年まではAMAYAKA(W)というボランティアチームとしてフェアトレード普及活動のみに特化して活動していましたが、今年(2023年)6月にNPO法人Happiness Kids Laboとしてさらに子育て支援や病児・障害児支援にも取り組んでいきます。

## ★Action09

### 和歌の浦 SDGsプロジェクト



★実施主体  
和歌の浦 SDGsプロジェクト

★実施時期  
2023年9月23日  
～2030年9月23日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

和歌の浦SDGsは、和歌の浦地区特有の歴史・文化・景観・環境に基づいた、市民プライドにつながる持続可能なまちづくりを目指すものです。1300年前に和歌の浦を訪れた聖武天皇が、この美しく豊かな環境を守るよう詔を発したことから和歌の浦の環境保全活動は始まりました。過去から学び、未来への責任を感じるとともに、すべての人々が価値観を共有し、実践する。和歌の聖地・和歌の浦1300年記念大祭を2024年秋を迎える節目の年に、和歌の浦SDGsが、その契機となることを目指します。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

和歌の浦を象徴する景観の再生と創造 1市町川(不老橋から御手洗池へ続く運河)の浄化  
※牡蠣など生物を使った浄化の検討・実践および清掃活動 2巖山と鏡山の整備※間伐などの森林整備活動  
和歌の浦の歴史・文化・景観・環境に関する知識と課題の共有。市民プライドにつながる象徴的景観の創出。大人のサポートで子供たちが楽しく学び未来を創造。如実知自心という言葉のように、この活動で和歌山というまちを知ることができ、自分の心の動きを知り、本当の自分を知ることができ。まちの宝や自分の心の種を探す。そのこころの種は、いつか芽吹きます。  
そうすることで持続可能なまちづくりとなります。

## ★Action12

### サニコンのSDGs 5つの取組み



★実施主体  
株式会社サニコン

★実施時期  
2020年8月～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

サニコンは持続可能な開発目標の17の目標のうち次の5つの取組みをしています。  
03.すべての人に健康と福祉を：献血(会社近辺の献血には出来る限り全社員が参加しています)  
06.安全な水とトイレを世界中に：館内再生水の継続(中水循環システムを利用し館内から排水せずに再利用しています)  
11.住み続けられるまちづくりを：避難場所への飲料水提供(和歌山市と協定を結び常時12L×300本の飲料水を備蓄しています)  
12.つくる責任つかう責任：プラスチックゴミの削減(クリアファイルの代わりに紙ファイルを使用しています)  
14.海の豊かさを守ろう：海岸清掃(年に一度は磯の浦海岸の清掃活動をしています)

#### FUTURE | 今後の計画・展開

地域密着型の企業として、近隣地域の安心安全と自然環境に対し、社会貢献を継続していきます。

## ★Action13

### 和歌山発! 地域を拓く鍵となる「Key Girl」育成プログラム



★実施主体  
和歌山信愛中学校高等学校

★実施時期  
令和5年度高校2年生：  
2023年1月6日～2023年12月15日  
高校1年生：  
2024年1月6日～2024年12月15日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

和歌山信愛高校では、通常の教科学習だけでなく、変化が早く、その予想が難しいこれからの社会に対応する能力を育成するために、上記のプログラムを開発し、その育成にチャレンジしてきた。Key Girl育成プログラムは3段階に分かれており、その第2段階を「グローバル探究」と名づけ、SDGsをテーマとする探究学習を実施している。SDGsの中から信愛と関わる「福祉(ゴール1、2、3、6)」、「教育(ゴール4)」、「女性(ゴール5)」、「環境(ゴール11、12、13、14、15)」の4分野を設定し、生徒たちが自分で課題設定を行い、2030年に実現可能で、アクションを伴う永続可能な解決策を提案する活動を行っている。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

現高校2年生は、高校1年生の3学期よりすでにこのプログラムに取り組んでおり、12月11日(月曜日)、13日(水曜日)に実施される最終発表会に向けて、探究的な学びを行っている。なお、2024年2月には優秀班による成果発表会が実施され、それを見た現高校1年生にこの学びが引き継がれていくという形をとることで、さらに深い探究的な学びにつながるよう工夫をしている。なお、生徒の解決策に関心を持つ企業、団体とのコラボを通して社会実装を目指している。



## ★Action14

### 牛乳パックから生まれた紙の糸事業



★実施主体  
株式会社島精機製作所  
ReMateri

★実施時期  
2022年11月23日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

社内ベンチャーの取り組みとして「牛乳パックから生まれた紙の糸」を開発しました。サステナブルな世の中である昨今、古紙回収後の古紙はリサイクルし切れずに海外へ輸出されるケースも多々あります。そんな中で牛乳パックを中心とした紙を使って糸にすることが出来れば、靴下やタオルなどをはじめとした高付加価値な製品に生まれ変わると考えました。また、牛乳パックという分かりやすい資源を使っているため、田辺市の中学校や県外でもリサイクルの出前授業を実施したりしています。このような活動を通してリサイクルを推進しながら、そこから生まれる新しい可能性を和歌山から世界へと広げていく事業となります。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

牛乳パックから生まれた製品をもっとたくさんの方に知って頂き、紙糸の持つ魅力を伝えたいです。リサイクルの流れをきちんと知り、どうやって糸が出来たのかを学び、日本の牛乳パックリサイクル率を高め、リサイクルして出来たものを日々の生活の中で使う、というサイクルを回していくために、まずは和歌山市、和歌山県内の学校、施設、職場などで授業を実施できれば良いと思います。

## ★Action15

### 男の子だってヘアドネーション



★実施主体  
千崎咲都

★実施時期  
2022年4月～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

小学1年生の授業でSDGsのお話を聞いて帰る”僕”にできる持続可能な目標ってなんだろう？”とお母さんと考えました。  
”髪の毛を寄付してカツラを作ってもらおうのだから、病気で髪が生えない子たちにはすごく役に立つし嬉しい事なんだよ！”とお母さんが教えてくれました。  
それなら僕にも出来るかも!!!!  
そこで、1.ヘアドネーションと2.ご飯を残さず食べるを目標にする事を決めました。  
みんなの小さな小さな努力で2030年がどんな世界になっているか楽しみです。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

男の子は髪が短い。女の子は髪が長い。  
男は青。女は赤。  
男はズボン。女はスカート。  
そんな固定観念がまだまだ根深く残っているのを実感していますが、男だって髪を伸ばしてヘアドネーションするのが当たり前で恥じる物ではない事を広めていきたいです。

## ★Action18

### 9.産業と技術革新の基礎をつくろう



★実施主体  
日中金属貿易株式会社

★実施時期  
毎日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

「捨てればゴミ。再生すれば資源。」将来にわたり社会に必要な不可欠な事業」弊社の社長が16年前に事業を創る時の志。  
世間は、ここ最近やっとSDGsに取り組もうと言われ始めた。  
先見の目があると思いませんか。  
不要な物をお客様にとって価値ある資産に変えてあげようという発想は素晴らしいと思う。  
環境問題が深刻化する現在、鉄・非鉄金属・各種電線・給湯器・工業用モーターなど、様々な金属資源(スクラップ)を回収し買取らせてもらうことによりお客様に貢献しさらにこの限りある資源を有効に再利用していただく為にリサイクル業者へ搬出させていただいています。  
私たちは、地球に優しい社会を構築しようと日々取り組んでいます。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

電線から作る銅ナゲットは、電子機器、自動車部品、伸銅品の原料として利用されます。  
少しでも多く銅ナゲットにしてリサイクルに貢献する。

## ★Action19

### 廃棄ストリングの活用



★実施主体  
株式会社ミクススポーツ

★実施時期  
2021年～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

テニスやバドミントンラケットの廃棄ストリングを何か活用できないかと思いつきました。  
張り替え時には「使用済みのストリング」とストリングング時に出る「余分なストリング」、2種類の廃棄物が出ます。この「余分なストリング」を使用し、テニスのストリングではミニラケットを作って小さいお子さんにプレゼントしています。  
またバドミントンのものはレジャー用の安いラケットのストリング補修に使用しています。  
<https://fb.watch/nG1koGY4d9/>

#### FUTURE | 今後の計画・展開

今後の計画・展開  
ゴミは毎日排出され続けているので、これからもピンときたら新しい事をやってゆきます。

## ★Action16

### SDGs参加活動を通じて、地域の方々の健康を「静・動・食」からサポートするSDGs推進事業



★実施主体  
健康研究所  
鉄板ダイニングBENK

★実施時期  
2023年3月1日～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

創業(5年)以来、我が社はSDGsに積極的に取り組んでいます。和歌山県は、「食」を支えている、第一次産業を営まれている方が多い県です。目標12を理念に商品落ちした食材を冷凍惣菜やスイーツにして製造販売しています。コロナ禍中には、目標3と11に取り組み一環として自己免疫力の向上からの健康維持、自律神経の乱れからくる様々な問題の緩和、認知予防への取り組みなどを目的としたエステサロンとEスポーツフィットネスクラブ(2023年12月に完成)を新規事業を立ち上げる事でより健康的なライフ生活と地域の繋がりを育む場所としていきます。次世代型の複合企業モデルとして2030年に向けてSDGsに貢献していきたいです。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

静・動・食を通じて多くの企業を通じて共有する事で、SDGsに貢献する場所の継続的な提供と独自に販路拡大、自立支援、後継者問題への取り組みに力を入れていきたいです。料理研究としての活動もしているので企業のタイアップなどでの商品開発からふるさと納税品の開発も含め県外へ向けた商品開発をしていきます。学校の廃校の再利用にも含めた給食施設の利用など様々な活動を通じて持続可能な開発・発展に寄与していきます。

## ★Action17

### POLA marche



★実施主体  
POLAふじと駅駅前店

★実施時期  
2023年10月22日  
第4回目開催

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

【きっかけ】  
「和歌山を元気にしたい」というスタッフの声でした。  
わかやまマルシェに参加し私たちが元気をもらい、私たちが元気を与えられる存在になりたい!和歌山を元気にしたい!和歌山に恩返しを!という思いから始まりました。  
【取組内容】  
POLAの店舗がある和歌山大学前駅で、マルシェを開催。年に2~3回定期的に開催しております。  
「和歌山を元気に」をテーマに多くの事業者様から賛同いただき、飲食やハンドメイドなど30ブースを出店、約750名のお客様にご来場いただきました。地域のお店との繋がりを深め、子供からお年寄りまで楽しめるイベントを作ることと和歌山の経済活性化、地域振興に貢献いたしました。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

和歌山を繋がりであふれる人が集まる憧れられる和歌山にしていきたい。今後も年に2~3回定期的にマルシェを開催します。婚活、清掃活動、職業体験、福祉ボランティアなどのイベントも引き続き行い、地域の方との繋がりを深め和歌山の活性化に貢献したいと考えています。

## ★Action20

### 100年後の子どもたちに自然豊かな地球を残す



★実施主体  
ぐるり和歌山

★実施時期  
2023年8月21日～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

『トゥルー・コスト』というファストファッション業界の実態を撮影したドキュメンタリー映画を観たことがきっかけでした。そこで描かれていたのは染色による海洋汚染や自分の子供を田舎に残して都会で働く若い女性たちの過酷な労働環境の問題でした。わたしもファストファッションを楽しんでいて、また子供もいるので衝撃的な内容でした。大切な子供たちのために今すぐ行動できることを探していて、それがお譲り交換会でした。今は服だけでなく、何でも交換しています。物を大切にすることを育め、ゴミも減らせ、家計にもやさしい。ぐるりは、物やスキル何でもお譲り交換し、助け合いながら、社会問題を解決していくコミュニティです。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

物とスキルの交換を継続的に。常設会場を作りたいので場所の交換も行いたい。最終目標は、ゴミ処理場前に物々交換場を設置すること。これにより町のゴミの量が半分ほどに減った事例もある。

## ★Action21

### 女性の職場活躍推進を目的とした昇給基準の明確化と賃金増額の取り組み



★実施主体  
学校法人山本学園  
IBW美容専門学校

★実施時期  
2022年7月1日  
～2023年6月30日

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

本校は美容師の職業教育の専門学校であり、職員8割以上、在校生8割が女性である。「ジェンダー平等」及び「女性活躍推進」は経営に長期的に影響があると考え、これまでも多様な勤務時間を留意し、一人一人の生活スタイルに合った働き方を可能にする事により「仕事と育児・介護の両立」「妊娠中の勤務」支援は行ってきたが、昨年度より取り組んだのが「女性管理職の登用増」である。働く女性は多いものの管理職は大変さというネガティブなイメージから希望する女性は少なかった。そこで昇給基準を明確にし、キャリア研修、リーダー育成等の取組を実施。結果、管理職に占める女性の割合は60%、賃金は2015年比で58%アップとなった。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

前述の取組により、事業生産性が向上し売上、利益率共に連続で増加。女性管理職は他の職員にとってロールモデルとなり、そのモデルが存在する事でモチベーションが上がるため、職員育成にも効果がある。学生たちにとっても将来の働き活躍する姿を身近に見る事で刺激となっている。今後も一人一人の事情に合わせてきめ細やかな対応で出産、子育て等でキャリアの断絶を起させず、誰もが自分らしく働ける環境作りに取り組んでいきたい。



## ★Action22

### 和歌山駅からサステナブルな街づくりを



- ★実施主体  
株式会社和歌山  
ステーションビルディング
- ★実施時期  
随時

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

JR和歌山駅直結の商業施設「和歌山ミオ」を運営する当社は、お客様のニーズに合わせて、形を変えながら2023年で55周年を迎えました。近年では、お客様の価値観やライフスタイルの変化を受け、地域にお住まいの方の生活に寄り添い、利便性の高いショッピングセンターを目指しております。本年より新たな取組みとして、地域の魅力発信・和歌山駅前活性化を目的に「いこらマルシェ」を実施しました。JR和歌山駅という立地を生かし、県内で話題の店舗にご来店いただくことで、より地元の方に和歌山の魅力をお伝えすることが出来ました。その他、不要になったコスメを回収し寄付する等のリサイクル活動にも力を入れています。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

地域に根差したショッピングセンターとして和歌山駅前を活性化し、サステナブルな街づくりに貢献すべく、地域にお住まいの方が「和歌山ミオに求めていること」にお応えしていきます。「いこらマルシェ」では引き続き、話題の店舗誘致に取り組み、地域の魅力発信・お客様の楽しみ創出を目指します。また2023年冬にはフードドライブも実施しました。継続的な開催でSDGsに関する認知拡大、普及へ貢献したいと考えております。

## ★Action24

### 女性が研究していくモビリティと 新たなまちづくり



- ★実施主体  
一般社団法人  
ワーカルラボ
- ★実施時期  
2023年10月13日～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

ワーカルラボは、女性が中心となって地域課題や社会問題を今までのまちづくりになかった視点から解決する会社です。その為に、私たちには何が出来るのかを考え、企画・実行を通して新たなまちづくりを行っています。

女性の社会進出を促進し、やりがいをもって経済活動に参画する中で、社会に貢献していく事を目指します。さらに、ワーカルラボを通して女性が自分自身の成長に繋げることが出来るような取組みを行っています。

12月には民間企業者と共に観光モビリティの実証実験を予定しており、女性目線から考えたモビリティ活用を企画し、運営を行います。運行だけでなく、周辺施設や店舗に人が流れていくような企画を考えています。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

モビリティの運行だけでなく、和歌山城やその周辺の人流の調査も同時に行うため、それを踏まえた和歌山市でモビリティを運行していく事の可能性を探ります。移動手段だけでなく、福祉・観光・経済など様々な視点から、『和歌山市でのモビリティの新たな付加価値』を女性目線で研究します。(例:食品ロスとモビリティの融合や、女性目線での観光モビリティ運行など)

## ★Action23

### 関西初の『ZEB』事業所 ～脱炭素社会の実現に向けた取り組み～



- ★実施主体  
リコージャパン株式会社
- ★実施時期  
2020年4月～現在

#### ABOUT | 取組のきっかけ・内容

リコーは2017年に日本企業で初めてRE100に加盟。これは、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーに転換すると宣言する企業で構成された国際企業イニシアチブを指す。

RE100に向け、事業活動全体のCO2排出量抑制を目指し「生産プロセス」「事業所」「サプライチェーン全体」で革新を進めており、「事業所」の取組みが『ZEB』事業所の建設に該当する。

『ZEB』とは、省エネ+創エネで100%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現する建物のことで、創エネ(太陽光パネルの設置)、蓄エネ(蓄電システム等の活用)、省エネ(独自の照明・空調制御システム等の活用)を融合させ『ZEB』を実現している。

#### FUTURE | 今後の計画・展開

『ZEB』事業所を、誰でも見学ができるLive Officeとして位置付け、脱炭素社会実現に向けた取組みを体感していただいております。

見学を通じた県内コラボも多く生まれ、学生向けセミナーやNPO法人様と脱炭素セミナーを共同で開催し、脱炭素に取り組みたいお客様のお手伝いをさせていただきました。

これからも多くの方に『ZEB』を体感していただき、お客様と共に脱炭素社会の実現を目指し取り組み続けます。



